

令和 6 年度定期総会結果

今年度の総会議事の審議結果は以下のとおりです。

		承認数／会員数	
		(一般・特別会員数)	承認率
1)	令和 5 年度 事業・決算報告及び監査報告	192／215	89.3%
2)	令和 6 年度 事業計画（案）及び予算（案）	192／215	89.3%
3)	役員の改選（案）	192／215	89.3%

会則 17 条により全会員の 1／2 以上（委任状提出含む 192／215）の参加があり、総会として成立していることが確認され、また過半数を超える承認率となっておりますので、令和 6 年度の議事については承認されました。

「四国の川を考える会」

令和 6 年度定期総会

令和 6 年 7 月

四国の川を考える会 事務局

「四国の川を考える会」令和6年度定期総会

～ 目 次 ～

議 事

- (1) 令和5年度 事業報告
- (2) 令和5年度 決算報告及び監査報告
- (3) 令和6年度 事業計画(案)
- (4) 令和6年度 予算(案)
- (5) 役員の改選(案)
- (6) その他
 - 1) 課題への対応方針(案)
 - 2) 会員の動向

(1) 令和5年度 事業報告

1) 事業報告

①会 議

・運営幹事会

開催日 令和5年4月19日(水)

場 所 建設クリエイトビル 会議室

議 題

- 1) 令和5年度 役員会・定期総会の開催日程について
- 2) 令和5年度 事業計画・予算(案)
- 3) 令和5年度 助成事業等の審査
- 4) その他(役員改選、会員動向等)

・役員会

開催日 令和5年5月10日(水)

場 所 建設クリエイトビル 会議室

議 題

- 1) 令和5年度 定期総会の開催について
- 2) 令和5年度 事業計画・予算(案)
- 3) 令和5年度 助成事業等の審査
- 4) その他(役員改選、会員動向等)

・定期総会

開催日 令和5年8月2日(水)

場 所 マリンパレスさぬき「瀬戸」

議 題

- 1) 令和4年度 事業・決算報告及び監査報告
- 2) 令和5年度 事業計画(案)及び予算(案)
- 3) 役員の改選
- 4) その他

②広報誌、機関紙の発行

・広報誌 “あめんぼWEB版”

発 行：令和6年2月1日

四国地方における「かわまちづくり」についてと川のトピックス等を紹介

・機関紙 “水紋WEB版”

情報が入りしだい掲載する形にリニューアル。

- ・総会報告 (R6/2/1)
- ・助成事業の実施状況 (R6/2/1)
- ・四国堰堤ダム88箇所巡りの完走認定状況 (R6/2/1)

③令和５年度 広報事業と助成事業

区分	イベント名	河川名	場所	主催者	実施状況
広報事業	—	—	—	—	—
助成事業	「重信川かすみの森公園のかわまちづくり活動とスラックラインジュニアカップ」	重信川	重信川かすみの森公園	Vertマルシェ実行委員会	令和5年11月26日(日) 参加人数：100名以上
	遊んで学ぼう、鮎喰川	鮎喰川	鮎喰川	徳島の川に親しむダンスの会	令和5年7月30日(日) 参加人数：119名
	那賀川源流コンサート	那賀川	四季美谷温泉駐車場特設会場	那賀川アフターフォーラム	令和5年11月19日(日) 参加人数：約120名
	横瀬川アクティブイベント	横瀬川	横瀬川ダム	ダム利活用調整会議	令和5年8月26日(土) 参加人数：26名 令和5年12月3日(日) 参加人数：30名
	リレー防災みらいサロン	土器川	丸亀市、坂出市、善通寺市、多度津町、まんのう町	中讃地域防災・減災・縮災ネットワーク・プロジェクト	令和5年12月3日(約30人) 令和5年10月28日(約30人) 令和5年9月9日(約70人) 令和5年9月23日(約60人) 令和6年3月3日(約600人) 参加人数計：約790人
	四国に唯一生息するカジカ（県選定絶滅危惧Ⅰ類）の生息調査・保護	香東川・土器川	（カジカ生息調査）香東川・土器川上流域（人工産卵床設置・観察）香東川上流域	香川淡水魚研究会	カジカ生息調査 （参加人数43名） 令和5年（7回） 6/3, 7/8, 8/20, 9/16, 10/1, 11/11, 12/9 カジカ人工産卵床設置・観察 （参加人数14人） 令和6年（6回） 2/3, 2/4, 2/22, 3/2, 3/3 4/20
	重信川かわまちづくりと重信川シクロクロス大会	重信川	重信川河川敷及び重信川かすみの森公園	重信川シクロクロス実行委員会 ミズベリング愛媛	令和6年1月7日(日) 参加人数：300名以上
	小学生によるあゆつかみ取りと河川水質の学習	河辺川	大洲市肱川町山鳥坂（河辺川河川敷）	肱川漁業協同組合肱川支部・肱川プロジェクト	令和5年8月11日(金) 参加人数：約100名
	水辺で乾杯	仁淀川	いの町波川公園	MIZBERING NIYODOGAWA INOTOWN	令和5年7月7日(金) 参加人数：132人
	仁淀川神楽と鮎と酒に酔う	仁淀川	仁淀川波川公園	神楽と鮎と酒に酔う実行委員会	令和5年9月30日(土) 参加人数：約1500人
	仁淀川紙のこいのぼり	仁淀川	仁淀川波川公園	仁淀川紙のこいのぼり実行委員会	令和6年5月3～5日に実施（後援のみ）

④その他

【報告】 四国堰堤ダム 88箇所巡り完走認定について

堰堤 88箇所巡りの完走認定につきましては、平成 24 年度の総会で承認されて以来実施しています。

認定状況としましては、平成 24 年 11 月に第 1 号の完走の認定を行った後、昨年の総会時（令和 5 年 8 月 2 日時点）までに 173 名の方を認定し、その後さらに 13 名の方を加え、令和 6 年 7 月 1 日時点で、のべ 186 名の方を認定しております。（このうち、六回り目を達成した方が 2 名、五回り目を達成した方が 2 名、四回り目を達成した方が 3 名、三回り目を達成した方が 6 名、二回り目を達成した方が 20 名）

(2) 令和5年度 決算報告及び監査報告

1) 令和5年度 決算報告

自 令和5年6月1日～至 令和6年5月31日

(省略)

(3) 令和6年度 事業計画(案)

① 助成事業を実施する。(次ページの参考資料のとおり)

・ 令和6年度助成事業の選定

② ホームページを活用し、広報誌「あめんぼ」の情報発信を行う。

③ 機関紙「水紋」をホームページにて公開

④ 四国堰堤ダム88箇所巡り完走認定

(4) 令和6年度 予算(案)

(省略)

令和6年度 助成事業応募状況

	助成事業名(活動名)	助成・ 後援 の別	新規・ 継続	応募者	実施時期	要望額
①	那賀川源流コンサート	助成	継続	那賀川アフターフォーラム	R6年11月17日	100,000
②	横瀬川アクティブイベント (サイクリングイベント)	助成	継続	ダム利活用調整協議会 ダム活元気ネットワーク	R6年9月と11月	100,000
③	リレー防災みらいサロン	助成	継続	中讃地域 防災・減災・ 縮災ネットワーク・プロ ジェクト	7回/年	100,000
④	四国に唯一生息するカジカ(県 選定絶滅危惧Ⅰ類)の生息調 査・保護	助成	継続	香川淡水魚研究会	(カジカ生息調査) R6年6月～R7年1月 月1回程度 (人工産卵床設置・観察) R7年2月～5月 3回程度	95,000
⑤	重信川かわまちづくりと重信川 シクロクロス大会	助成	継続	重信川シクロクロス実行 委員会 ミズベリング愛媛	R7年1～2月頃	100,000
⑥	小学生によるあゆつかみ取りと 河川水質の学習	助成	継続	肱川漁業協同組合肱川 支部・肱川プロジェクト	R6年8月11日	100,000
⑦	水辺で乾杯	助成	継続	MIZBERING NIYODOGAWA INOTOWN	R6年7月7日	100,000
⑧	仁淀川神楽と鮎と酒に酔う	助成 後援	継続 新規	仁淀川神楽と鮎と酒に酔 う実行委員会	R6年10月	100,000
⑨	仁淀川紙のこいのぼり	助成 後援	新規 継続	仁淀川紙のこいのぼり実 行委員会	R7年5月3～5日	100,000
	合計					895,000

令和6年度「四国の川を考える会」広報事業と助成事業(案)

(参考資料)

区分	イベント名	主 催	河川名	目 的	内 容	開催場所	参加予 定人数	開 催 日	助成 決定額
広報事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
助成事業	①那賀川源流コンサート (継続)	那賀川アフターフォーラム	那賀川	流域内外の小中学生や一般の方々を対象として那賀川源流コンサートを開催し、参加を通じて源流域の自然に触れてもらい自然の豊さと自然環境の現実を体感してもらう。併せて流域内外交流の活性化や那賀川の上流域と下流域の連携による地域振興を目指す。	那賀川流域内外の関係者によるコンサートを源流域で開催する。那賀川の自然や環境に関する教育、那賀川流域の自然の紹介を通じて流域内の交流活性化を図る。	山のおもちゃ美術館駐車場特設会場	150人	令和6年11月17日	(100,000) 80,000
	②横瀬川アクティブイベント (サイクリングイベント) (継続)	ダム利活用調整協議会 ダム活元気ネットワーク	横瀬川	ダム利活用調整協議会では、ダムを活用した地域振興及び防災教育等に関する取組を行っており、令和2年6月に管理を開始した横瀬川ダムにおいて、令和5年度はダム及びその周辺施設と連携した地域振興を目的にダム壁面を活用したクライミング体験やダム見学と、地元公共交通機関である土佐くろしお鉄道と連携したサイクルトレイン、サイクリング、地元の食を組み合わせた「ポタリング幡多」を開催。令和6年度も継続したダムのPRに加え、地元公共交通機関、ダム壁面クライミングの活用にも繋がる本取り組みを継続しつつ新たなイベントを追加するなど、ダム及びその周辺の活性化を目指すもの。	サイクルトレインにて横瀬川ダム近傍の駅まで移動し、ダムまで及びダムの貯水池をサイクリング。ダムでは地元の食を楽しみ、ダム見学、クライミング体験、ダム周辺の散策などを実施。帰路は中筋川沿いの堤防をサイクリングし、景色を楽しみながらゴールを目指す。	横瀬川ダム	約各回30人	令和6年9月と11月	(100,000) 100,000
	③リレー防災みらいサロン (継続)	中讃地域防災・減災・縮災ネットワーク・プロジェクト	土器川	① 交流の場・機会を増やす ② 地域の多種多様な組織・団体が知り合いになる ③ 「防災」をキーワードに、地域で「つながりの輪」を作る ④ 地域の情報を共有する ⑤ 地域防災リーダーを育成する ⑥ 様々な地域活動に共同で参画しやすくする ⑦ 災害時に地域で協力しやすい体制を作る	第1部：防災・気象情報・河川情報など専門家による講話 防災・気象情報・河川情報などのクロスロードゲーム 防災フェスタ など 第2部：防災などに関するカフェスタイル座談会	7市町内(丸亀市、坂出市、善通寺市、宇多津町、多度津町、琴平町、まんのう町)	210人 (30人×7)	年内7回開催予定	(100,000) 100,000

区分	イベント名	主催	河川名	目的	内容	開催場所	参加予定人数	開催日	助成決定額
助成事業	④ 四国に唯一生息するカジカ（県選定絶滅危惧Ⅰ類）の生息調査・保護 (継続)	香川淡水魚研究会	香東川・土器川	四国では唯一継続して香川に生息するカジカ大卵型（香川県選定絶滅危惧Ⅰ類）個体群を絶滅から回避するために、継続して精密な生息調査と人工産卵床設置による増殖の支援を行う。	四国の川を考える会の助成を得た３年間の現地調査で、香川県選定絶滅危惧種Ⅰ類のカジカの生息状況が悪化の一途を辿っていることが確認された。土器川では1980年代を最後に生息が確認できなくなり、ここ３年間の調査でも確認できていない。香東川で生息が確認されているカジカは、カジカ大卵型と呼ばれる河川陸封型で、香東川産個体群が四国唯一の残された個体群である。香東川でも柗川ダムの設置により急速に個体数が減少している。香東川産のカジカ大卵型の絶滅回避のために精密な生息調査を行い、増殖を支援するための人工産卵床の開発・設置・観察に取り組む。あわせて土器川でも以前確認された地点で再生息調査を行い、生息情報を集積する。	(カジカ生息調査) 香東川・土器川上流域 (人工産卵床設置・観察) 香東川上流域	(カジカ生息調査) 毎回５人程度 (人工産卵床設置・観察) 毎回３人程度	(カジカ生息調査) 2024年6月～2025年1月1回程度 (人工産卵床設置・観察) 2025年2月～5月3回程度	(95,000) 95,000
	⑤ 重信川かわまちづくりと重信川シクロクロス大会 (継続)	重信川シクロクロス実行委員会 ミズベリング愛媛	重信川	現在、整備が進められている重信川かわまちづくりは、自転車を核とした利活用推進を図るものである。また、愛媛県全体としても自転車施策に重点的に取り組んでいるところで、重信川サイクリングロードもモデルコースに設定され、官民連携して自転車に関するポテンシャル向上を図っているところである。 重信川シクロクロス実行委員会では、国土交通省、愛媛県中予地方局、東温市と連携し、重信川を利用したシクロクロス大会を実施することで、重信川の魅力発信を行うとともに、河川空間を活用した地域の観光振興に資することを目的に活動している。	大会参加者の約３００名で、重信川かわまちづくりスポット「かすみの森公園」の有効活用、サイクリングロードの更なる活用、認知度向上を目的として、「重信川シクロクロス大会」を行い、重信川とふれあい魅力を発信するとともに、国土交通省かわまちづくりの事業紹介などを行い、河川環境保全の理解を深める。	重信川かすみの森公園	約300人	令和7年1～2月頃	(100,000) 100,000
	⑥ 小学生によるあゆつかみ取りと河川水質の学習 (継続)	肱川漁業協同組合 肱川支部・肱川プロジェクト	河辺川	地元小学生にあゆのつかみ取りを通して、川に親しんでもらい、川に生息・生育する魚についても学んでもらい、魚の生息・生育にはきれいな水が必要であり、水質保全の必要性を理解してもらう。合わせて、川での遊びは危険もあり、命を守るためのライフジャケット着用の必要性についてもPRする。	(1) あゆのつかみ取り (2) 川（肱川・河辺川）に生息する魚類等 (3) 肱川・河辺川の水質調査（バックテスト） (4) 川に潜む危険（ライフジャケットの必要性）	大洲市 肱川町山鳥坂 (河辺川河川敷)	約100人	令和6年8月11日	(100,000) 100,000

区分	イベント名	主 催	河川名	目 的	内 容	開催場 所	参加予 定人数	開催日	助成 決定額
助 成 事 業	⑦水辺で乾杯 (継続)	MIZBERING NIYODOGAWA INOTOWN	仁淀川	行政と民間企業との橋渡しとなる団体として、全国上位に連なる良好な水質である仁淀川をフィールドでイベント等を行い、地域の活性化を図る。	今年度は、初の日曜日開催ということで、河原でビアガーデンを開催予定。現場を昨年購入させていただいたキャンドル等で彩り、その中で地元の高知県立伊野商業高校軽音楽部等による弾き語り演奏を聴きながら、水辺で乾杯を行う予定。心やすらぐ音楽を聴きながら、昨年同様デトックスを目的に実施。	いの町 波川公園	100 人	令和 6 年 7 月 7 日	(100,000) 100,000
	⑧仁淀川神楽と鮎と酒に酔う (助成継続) (後援新規)	仁淀川神楽 と鮎と酒に 酔う実行委 員会	仁淀川	仁淀川流域の文化、歴史、自然や食の魅力を波川公園で体験してもらうことにより、清流・仁淀川に育くまれた豊かな地域資源の PR 及び利活用を促進するとともに、環境保全への意識向上を図る。	・流城市町村の伝統芸能（神楽や吾北清流太鼓など） 発表や音楽ライブ ・鮎の塩焼き販売 ・仁淀川流域酒蔵の利き酒 ・仁淀川市(流城市町村の食材を使った飲食店出店)など	仁淀川 波川公園	約 2,000 人	令和 6 年 10 月	(100,000) 100,000 (助成のみ 実施)
	⑨仁淀川紙のこいのぼり (助成新規) (後援継続)	仁淀川紙の こいのぼり 実行委員会	仁淀川	いの町の特産品「不織布」で作った約 250 匹の紙のこいのぼりを清流・仁淀川へ流し、いの町の貴重な財産である「土佐和紙」と「清流・仁淀川」の PR につなげ地域振興を図る。	開催期間中、国道 33 号仁淀川橋下の水中に不織布で作った紙のこいのぼりを流し、隣接する波川公園ではワークショップ等を開催する。	仁淀川 波川公園	約 10,000 人	令和 7 年 5 月 3 ～5 日	(100,000) 0 (後援のみ 実施)

(5) R6年度 役員の改選(案)

[役 員]

役 職	役 員 名	改 非	新
会 長	鈴木 幸一		
副会長	三谷 健		
	武藤 裕則		
名誉顧問	三井 宏		
理 事	田村 典子		
	菊池 弘美		
	五藤 隆彦		
	山地 秀樹		
	(一社)四国クレジット協会 副理事長 藤山 究		
	四国治水期成同盟連合会 幹事長 泉 浩嗣		
	四国電力(株)再生可能エネルギー部 総括グループリーダー 加地 貴		
	(財)河川情報センター 高松センター所長 赤澤 善樹		
監 事	香川県河川協会 事務局 佐野 健児		
	電源開発(株)西日本支店 支店長代理 前田 修一		

[運営幹事]

運 営 幹 事 名	新
四国電力(株)再生可能エネルギー部 総括グループリーダー 加地 貴	
電源開発(株)西日本支店 支店長代理 前田 修一	
五藤 隆彦	
いであ株式会社四国支店 高松営業所 横山 嘉夫	
香川県土木部 河川砂防課長 細川 孝芳	
四国地方整備局河川部 河川情報管理官 石岡 克浩	

[参 与]

参 与 名	新
徳島県県土整備部 河川整備課長 森野 克也	
香川県土木部 河川砂防課長 細川 孝芳	
愛媛県土木部 河川課長 永木 洋平	
高知県土木部 河川課長 山本 治良	
四国地方整備局河川部 河川情報管理官 石岡 克浩	

(6) その他

1) 課題への対応方針(案)

(省略)

2) 会員の動向

(令和5年総会時点)

一般会員	142名
特別会員	70名
計	212名

(令和6年度総会時点想定)

147名
68名
215名